

地域包括ケア推進セミナー
第1回 地域の社会資源を知ろう
「ケアラースロンの立ち上げと運営について」

認定特定非営利活動法人 さいたまNPOセンター
専務理事 村田 恵子
埼玉県立大学研究開発センター主催
2022年4月8日18:00～18:50

NPO法人さいたまNPOセンターとは

- * 1997年7月当時「市民活動促進法」(当時)の制定を求めするため埼玉県内の市民が作った埼玉NPO連絡会を母体に、1999年10月に設立された中間支援団体。活動分野を問わずにNPOを支援するNPO。
- * 2000年3月の「埼玉介護保険サポーターズクラブ研修講座」を皮切りに、NPOのネットワークや学習支援、地域開発事業を行う。指定管理者として8年半「さいたま市市民活動サポートセンター」の運営を行う。
- * 介護者支援の活動は2009年から開始し、実施した介護者支援事業(セミナー・研修会・講演会等)の参加者数は2021年11月現在で8,206人。

さいたまNPOセンターのケアラー支援

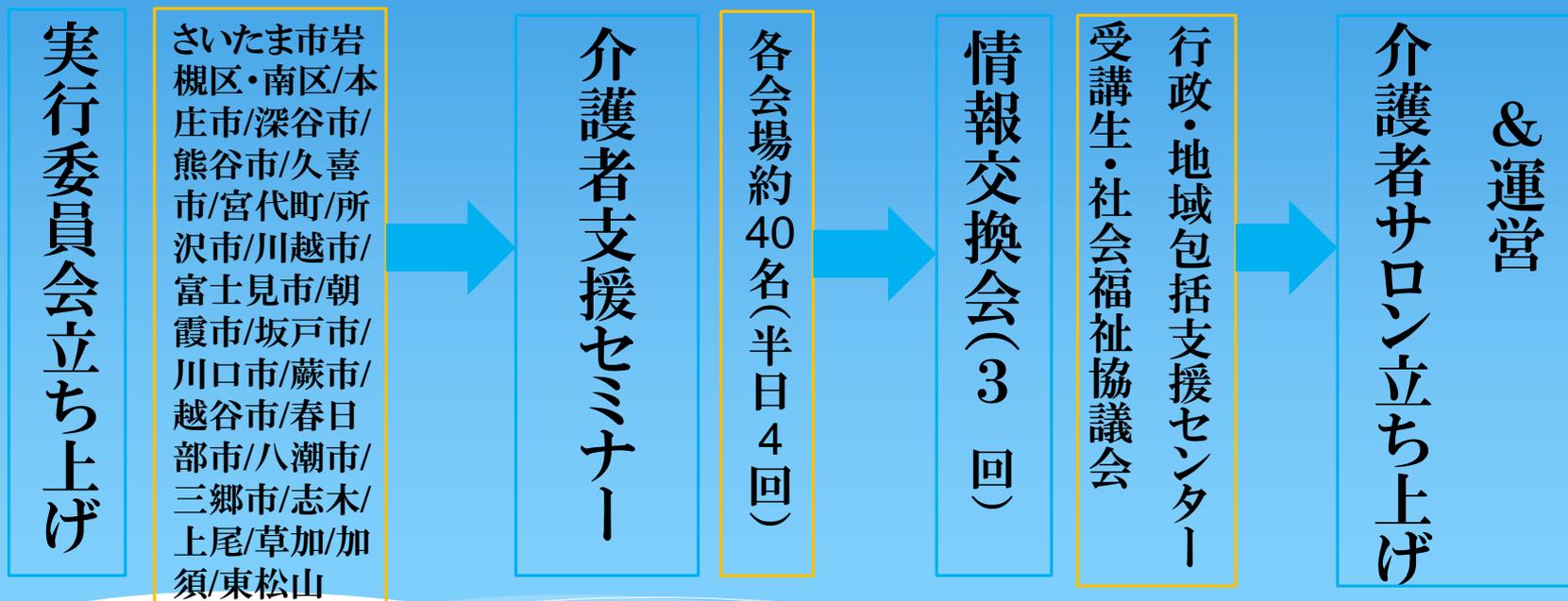
1. 介護者支援セミナーの実施と支援グループ立ち上げ支援、介護者サロンの開催支援、専門職や県民対象のセミナー・講演会の実施
2. 支援グループのネットワーク化。ケアラー支援情報提供、リーダー研修会や交流会の実施、助成金やパソコン贈呈などを各団体に紹介し、継続や成長を促す
3. 介護者サロンネットワークによる活動を実施（ケアラーマガジン発行、緊急支援グッズ、ケアラーせんべいの配布事業）
4. 2016年からは介護者サロンを浦和区で運営（現在は休止中）
5. アドボカシー活動（県・市条例制定の行政・議会への働きかけ）

1. 介護者支援セミナーを開いて啓発と支援グループ立ち上げを行い、介護者サロンの実現化を図る

- * 2009年～2014年、2015、2019年度に、さまざまな資金を得て実施。連続セミナー4～5回。その後に情報交換会を開いてグループ形成をはかる。セミナー受講者延べ数4,188人。
- * 誕生した介護者支援グループは29団体。介護者サロンの数では31か所(1団体が解散)
- * さいたま市が「介護者カフェ」に補助金を支給。そのうち2か所はセミナー受講者たちが運営。

1-1 埼玉県:「介護者支援グループ」と「介護者サロンリーダー」育成事業のスキーム

- 厚労省・埼玉県(2011年～2014年度 高齢者地域支え合い事業)
- 人口:H26年 約720万人



埼玉県介護者支援グループ・リーダーの交流・研修(サロンの運営や事例検討)

埼玉県介護者サロンマップの作成・改訂(2012・2013・2014年に作成)

1-1 介護者支援セミナーの様子

2011年11月春日部会場でのセミナー



2011年度 春日部実行委員会のメンバー



1-2地域包括支援センター専門職への介護者 支援セミナーの開催(埼玉県受託事業)

- * 2017～2020年度に実施。地域包括ケアシステムのキーマンともいえる職員への研修事業は、新しい「ケアラー支援」の概念を主任ケアマネジャーや社会福祉士、保健師等の意識や実践に持ち込んだ。
- * 県が主催したことによって、全国初の「埼玉県ケアラー支援条例」の制定の地ならしになった。
- * 1,000人規模の「ケアラー支援」を盛り込んだ県民対象の講演会も2回行われ、県民への啓発活動となった。

1-2 地域包括支援センター専門職への介護者 支援セミナーの開催（埼玉県受託事業）

2017年すこやかプラザ



2017～2020年度までのテキスト



2. 支援グループのネットワーク化。ケアラー支援情報提供、リーダースタッフ研修会や交流会の実施、助成金やパソコン贈呈などを各団体に紹介し、継続や成長を促す

介護者サロンスタッフ研修会の様子
2019年5月 志木会場



どのようなボランティア育成をしているのか？

- * 1. 研修の重視が特徴。テキストの作成、厳選された講師と先進的内容、ワークショップを多用した、考え、討論する研修。
- * 2. 学ぶだけでなく実践を用意する。ケアラズサロンの立ち上げや運営、すでにあるサロンへの参加を促す。
- * 3. 実際に活動を始めた後にも、フォローアップ講座を実施。また希望する市町村に講師を派遣したり、セミナーを開催。
- * 4. 実際のケアラー支援に役立つツールを開発する際には、アイデア・意見を出してもらおう。(ケアラズ手帳、ケアラーマガジン、引き継ぎシートなど)
- * 5. 一緒に活動をする。(緊急支援グッズの配布、けあらーせんべいの配布等)

ボランティア育成上の課題はなにか

- * 1. 11～7年前に立ち上がったケアラー支援団体の継承問題。
- * 2. 長年の活動である意味、メンバーの息があっており、
 - * 現在のグループに加入するよりも、新しいグループを立ち上げて活動した方がやりやすい、という傾向がある。
- * 3. 事業性がない対価を求めないボランティア活動団体がほとんどなので、それはそれでいいのではないかと考える。
- * 4. 但し、再度、連続セミナー、情報交換会をやって人材を募るには、予算化が必要である。
- * 5. 社会構造の変化でボランティア年代が高齢化しており、
 - * ボランティア育成したとしても活動期間が短い。

参考資料

- * 関係機関・民間団体等における介護者サロン事例集
- * ～立ち上げ・運営マニュアル～
- * (制作:さいたまNPOセンター/発行:埼玉県)
- * 地域包括ケア課 介護者支援で検索してください。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/202826/carer-salon.pdf>